

# エコチル調査を 母子保健活動に 活かそう

エコチル調査（子どもの健康と環境に関する全国調査）は、全国 15 か所で約 10 万組の親子を調査対象者として、2010（平成 22）年度から開始された長期にわたる追跡調査である。エコチル調査の分析から得られる研究成果は、保健指導や健康施策において科学的根拠として活用できる。本特集ではそれらの成果をどう読むか、母子保健の現場にどう活かせるかについて紹介する。

- 
- 保健師活動に活かす「エコチル調査」
  - 全国 10 万組の親子を対象とした追跡調査 エコチル調査の経緯と今後の展開
  - エコチル調査を読み解くための下準備
  - エコチル調査で変わる母子保健
  - エコチル調査における小児領域の解析結果の母子保健現場への応用
  - エコチル調査におけるユニットセンターの活動 「エコチルやまなし」の取り組みから